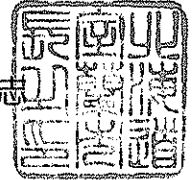


室都計第13号
平成19年4月26日

国土交通省道路局長 殿

室蘭市長 新宮正志



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のありました「中期的な計画の作成にあたっての意見」を提出しますので、よろしくお取り計らいをお願いいたします。

室蘭市都市建設部都市計画課
電話. 0143-25-2592

中期的な計画の作成にあたっての意見（北海道室蘭市）

今後の道路政策や道路の整備・管理について

○重点化を進めるうえで特に優先度の高い道路施策

室蘭市の中央地区は行政機能や高次医療機能の集積が高いため、西胆振各都市とのアクセス強化・向上が求められている。また、特定重要港湾としての室蘭港の機能や産業活動を支援する道路ネットワークの形成が求められている。

その重要な役割を担う路線となる白鳥新道 2 期区間については、早期着手が強く求められている。2 期区間については、その見通しが立たないため、現在、市民ワークショップで、そのあり方について検討しているが、その結果を待って取り組みを進めたい。

また、西胆振圏の大動脈として広域幹線交通機能の充実強化が求められている国道 37 号については、渋滞の解消や交通事故減少を図るため、陣屋町から石川町までの急カーブ、急勾配の解消と 4 車線化が必要であり、併せて本輪西町から陣屋町までの 4 車線化が求められている。

また、室蘭市は観光資源の多い西胆振の中心都市であるが、白鳥大橋から地球岬へと続く広域観光ルートとして重要な路線となっている道道中央東線山手ルートは、急勾配で狭い市道しかなく、乗用車のすれ違いですら厳しい状況で、大型バスの通行は不可能になっている。

そのため、観光ネットワーク形成と生活・防災機能の強化など、重要な都市幹線道路として早期の整備促進が求められている。

○効率化を徹底的に進めるうえで重要な事項

現在の道路状況やニーズの徹底した把握により、柔軟な発想でコスト削減となる改良再生に取り組み、いまの道路を徹底的に活用する必要がある。

○その他道路施策や道路の整備・管理全般に関すること

道路の改良や維持管理費は厳しい地方財政を圧迫しているため、財源を確保して、地方の道路のバリアフリー化などの改良や維持管理を支援する必要がある。

道路は人々の生活に重要な役割を持っているが、その地域に住む人々によって利用の仕方やニーズも異なっている。これまでの型にはまった管理ではなく、その地域に住む人々の意見を反映した、地域のためになる空間利用による地域活性化を考える必要がある。

無駄な公共投資と言われることのないように、今後は市民のニーズの的確な把握や理解が必要となるので、施策の展開に当たっては、行政と市民の協働による取り組みが必要。